

- 問1 大航海時代以降にヨーロッパ人の移住が進み、現在ではキリスト教徒が世界で最も多い国として知られる南アメリカの国を何という？
- 問2 紀元前6世紀ごろに誕生し、その後、中国や朝鮮半島を経て日本にも伝えられた世界的な宗教の起源となった地を何という？
- 問3 北極海沿岸やグリーンランドなどで一年中気温が低く、非常に寒冷な気候帯を何という？
- 問4 キリスト教がヨーロッパ各地に広まるきっかけとなった、古代の地中海世界を支配した大帝国を何という？
- 問5 東南アジアやブラジルなどで、カカオやコーヒーなどを輸出用に大規模に栽培する農園経営を何という？
- 問6 亜寒帯の土地で、寒さのために農業に適さず、酸性を示すことが多い土壌のことを何という？
- 問7 寒帯の地域で、夏の間だけ地面がわずかにとけて草やコケが生える土地のことを何という？
- 問8 ツンドラ気候において、夏にわずかに溶ける状態のものを何という？
- 問9 砂漠などの乾燥地域で、地下水や河川の水を利用して作物を育てる農業を何という？
- 問10 ユーラシア大陸や北アメリカ大陸の北部に広がる、寒冷な気候に適応した樹木が作る森林を何という？
- 問11 焼畑で作物を育てる際に、灰の中に含まれていて肥料として働く成分を何という？
- 問12 赤道付近の熱帯で、一年を通して発生する激しいにわか雨のことを何という？
- 問13 乾燥帯で見られる、短い雨季に短い草が生える程度の草原地帯を何という？
- 問14 一年の中で、最も気温が高い月と低い月の差のことを何という？
- 問15 乾燥帯の地域で、地下水をくみ上げて農業を行う場所を何という？
- 問16 一年中高温多湿で、背の高い樹木が密生している森林地帯のことを何という？
- 問17 北アメリカにあるステップ気候の草原地帯を何という？
- 問18 乾燥した地域のオアシス農業において、水が貴重な環境をいかして栽培される、衣料品の原料にもなる農産物を何という？
- 問19 ツンドラ気候の地域で、先住民が生活のために遊牧を行う動物を何という？
- 問20 イスラム教の礼拝所で見られる、ドーム型の屋根や尖塔（ミナレット）を特徴とする建築物を何という？
- 問21 イスラム教の信者が、毎日礼拝の際に向かうことで知られるサウジアラビアにある聖地を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え ブラジル	ブラジルは16世紀からポルトガルの植民地となり、言語や宗教が持ち込まれました。この結果、ブラジルではポルトガル語が公用語となり、キリスト教が人々の生活や文化に深く根付くこととなりました。現在でもブラジルは世界で最もカトリック教徒の数が多く国として知られています。
問2	答え インド	インドで誕生した仏教は、苦しみからの解放を説く教えとして、人々の間に急速に広まりました。その後、北方ルートを通じて中央アジア・中国・朝鮮半島を経て、6世紀半ばに日本へ伝来しました。
問3	答え 氷雪気候	氷雪気候は、最暖月でも平均気温が0度を超えない、寒帯の中でも最も過酷な気候区分です。一年中地表が厚い氷雪に覆われており、植物はほとんど生育できません。南極大陸やグリーンランドの内陸部などがこの気候に該当します。
問4	答え ローマ帝国	ローマ帝国は当初、キリスト教を弾圧していましたが、4世紀に皇帝がこれを公認しました。さらにその後、国教（公式の宗教）とすることで、教えは地中海周辺からヨーロッパ全域へと爆発的に広まりました。
問5	答え プランテーション	プランテーションは、熱帯・亜熱帯地域における大規模な単一栽培農園のことです。コーヒー、カカオ、天然ゴム、サトウキビなどを専門的に生産し、多くを輸出に回します。広大な土地と、現地の安価な労働力や外国からの資本を組み合わせ成り立っています。
問6	答え ポドゾル	ポドゾルは、針葉樹林の腐植層の下に形成される灰白色の土壌です。酸性が強いため養分が溶け出しやすく、農業にはあまり適していません。寒冷な気候条件がもたらす独特の土壌形成プロセスによって、この色が特徴的な地層が作られます。
問7	答え ツンドラ	ツンドラは、ロシア語の「木が生えない土地」に由来します。短い夏の間にだけ地表の雪がとけ、地衣類やコケ類、わずかな草が生育します。地中の深い部分は一年中凍ったままであることが多く、地表のみが季節的に変化する過酷な植生環境です。
問8	答え 氷雪	氷雪は、ツンドラ気候などの寒冷な地域で地表を覆う氷の塊や積雪を指します。夏の短い期間だけ地表に近い層が少しだけとけることがあります。地下深くは凍結したままです。この過酷な状態が、植物の生育を制限し、独自の生態系を維持する要因となっています。
問9	答え オアシス	オアシスとは、砂漠の中で水が得られる場所を指します。古くから、地下水が出る場所や、乾燥地帯を流れる外来河川の流域で農業が行われてきました。ここでは、ナツメヤシや小麦、果物などが栽培され、乾燥地における農耕のオアシスとなっています。伝統的には地下の導水路である「カナート」などが使われてきました。
問10	答え 針葉樹	針葉樹は、葉を細い針状にすることで、表面積を減らし、水分が凍結して失われるのを防いでいます。代表的な樹種にはトウヒやモミ、カラマツなどがあります。これらの樹木が密集して広大な森林を作っているのが、北半球の高緯度帯です。非常に成長が遅く、寒さに強いという特徴があります。
問11	答え カリウム	焼畑で木を燃やすと、木に含まれていた栄養分が灰として残ります。この灰にはカリウムが豊富に含まれており、これが天然の肥料として作物の成長を助けます。また、灰は土壌をアルカリ性に傾ける性質があるため、酸性土壌になりやすい熱帯の土壌を中和する働きもあります。これにより、貧栄養な土地でも一時的に豊かな収穫を得ることが可能となります。
問12	答え スコール	スコールとは、熱帯地方で見られる強烈な雨のことです。日中、気温が上昇して強い上昇気流が発生すると、積乱雲が急速に発達し、バケツをひっくり返したような激しい雨が短時間降ります。風を伴うことも多く、一過性ですが非常に勢いが強いのが特徴です。
問13	答え ステップ	ステップとは、降水量が年間を通じて少ない地域に見られる、樹木のない短い草の草原地帯です。雨が降る短い期間にだけ草が一斉に成長し、それ以外の時期は枯れ草となります。砂漠と草原の境界的な環境であり、広大な地域が家畜の放牧地として利用されることが多いのが特徴です。
問14	答え 年較差	年較差とは、一年のうちの最高平均気温と最低平均気温の差を指します。一般的に、海洋から遠い大陸の内陸部や亜寒帯の地域では、夏の高温と冬の極寒により、この差が極めて大きくなります。反対に、海洋に近い地域では海水の温度調整機能により、年較差は比較的小さくなる傾向があります。
問15	答え オアシス	オアシスとは、砂漠などの中であって、地下水を利用して植物が育ち、農業や集落が維持できる場所です。自然に湧き出る泉のほか、古い時代から開発された地下水路を利用して、ヤシや穀物、果物などを栽培するオアシス農業が行われています。
問16	答え 熱帯雨林	熱帯雨林とは、赤道に近い地域に分布する、背の高い常緑樹が層状に重なり合って密生する森林のことです。湿度が非常に高く、数多くの動植物が複雑な生態系を形成しています。ブラジルのアマゾン川流域などが代表的な例として知られています。
問17	答え プレーリー	プレーリーは、北アメリカの乾燥した地域に分布する大草原です。かつてはバイソンが群れをなして生活していましたが、現在はその広大な土地の大部分が、最新の機械を用いた大規模な小麦栽培地として利用されています。乾燥帯の気候に合わせた土地利用が行われている好例です。
問18	答え 綿花	オアシス周辺では、ナツメヤシや小麦のほかに、綿花などが栽培されています。綿花は熱や日光を好む性質があるため、乾燥地域の気候と非常に相性が良い農産物です。
問19	答え トナカイ	トナカイは、寒帯の過酷な環境に適応したシカ的一种です。先住民はトナカイの群れを移動させながら飼育し、乳や肉を食料として、毛皮を衣服や住居の材料として利用してきました。人間とトナカイは共生関係にあり、伝統的な文化を支える柱となっています。
問20	答え モスク	モスクは、信者が礼拝を行うための施設です。特徴的なドーム型の屋根や、高い塔（ミナレット）が備わっているのが一般的です。ミナレットは、礼拝の時間を知らせる呼びかけを行う場所として使われてきました。内部には偶像が置かれず、壁には美しい幾何学模様などが施されていることが多いです。
問21	答え メッカ	メッカはイスラム教における最大の聖地であり、市内にあるカーバ神殿は礼拝の方向（キブラ）として定められています。世界中のイスラム教徒は、毎日この地に向かって礼拝を行うことが義務づけられています。